

お知らせ

平成23年10月21日
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
近畿中国四国農業研究センター

**公開成果報告・現地検討会
「カンキツの栽培技術革新による新品種のブランド化と産地展開」を開催**

ポイント

- ・研究成果の速やかな社会還元を図ることを目的として、10月28日（金）に松山市で、公開の成果報告・現地検討会を開催します。
- ・成果報告会では、カンキツ品種を高品質に安定生産するための栽培情報を高度利用する生産技術や越冬完熟による「不知火」、「せとか」の生産技術を紹介します。
- ・現地検討会では、自動点滴かん水施肥や小型管理機による園内作業道造成の実演等を行います。

概要

西日本の温暖な傾斜地が主要な産地となっているカンキツ産業において、担い手の高齢化や減少等が問題となっており、持続的、安定的に国産のカンキツ果実を供給していくためには、農作業の省力化及び軽労化に加え、高収益化による経営体質の強化を図ることが重要な課題となっています。

農研機構では平成23年度から、この問題を解決するため、「カンキツのブランド化支援のための栽培情報の高度利用生産技術と園地整備技術の開発」の取り組みを開始しました。ウンシュウミカンや新しい中晩生カンキツ品種を高品質に安定生産するために、栽培情報を高度利用する生産技術の開発や、カンキツ傾斜地園地で運搬作業などの管理作業を省力・軽労化する技術の開発を行っています。

また、産地や地方公共団体の研究機関と連携して、より優れた技術とし、実用化を促進することを目的として、現地実証を展開しています。

今回は、その中から高品質な中晩生カンキツの産地として知られる愛媛県松山市の興居島で実施している課題を中心に成果報告、現地検討会を公開で行います。

当日は、是非とも取材にお越しいただき、紙面・番組等で広くご紹介いただければ幸いです。

なお、取材の際は、事前に広報担当へご連絡をお願いします。

開催日時：平成23年10月28日（金） 9:30～15:00
開催場所：松山市由良公民館（愛媛県松山市由良町 1048-2）
興居島実証試験現地（愛媛県松山市門田町 他）

問い合わせ先

問い合わせ先 農研機構 近畿中国四国農業研究センター
傾斜地園芸研究領域 上席研究員 根角 博久 TEL. 0877-63-8128
広報担当者 農研機構 近畿中国四国農業研究センター
四国企画管理室 連絡調整チーム 林倉 周子 TEL. 0877-63-8107

この資料は、愛媛県番町記者クラブ、香川県政記者クラブ、全国農業新聞、農業共済新聞、日本農業新聞中国四国支所、日本農業新聞四国支局に配付しています。

公開成果報告・現地検討会
「カンキツの栽培技術革新による新品種のブランド化と産地展開」

【開催日時・場所】

日時：平成23年10月28日(金) 9:30～15:00

場所：9:30～11:30 松山市由良公民館
(愛媛県松山市由良町1048-2 TEL 089-961-2932)
12:30～15:00 興居島実証試験現地
(愛媛県松山市門田町 他)

【参集者】

近畿農政局、中国四国農政局、和歌山県農林水産総合技術センター農業試験場、広島県立総合技術研究所農業技術センター、山口県農林総合技術センター農業技術部、香川県農業試験場府中分場、愛媛県関係機関(愛媛県農林水産部農産園芸課、中予地方局産業振興課、東予地方局今治支局産地育成室、愛媛県農林水産研究所)、(有)エルガ、日本園芸農業組合連合会、松山市農林水産課、えひめ中央農業協同組合、越智今治農業協同組合、現地実証園主、(独)農業・食品産業技術総合研究機構(中央農業総合研究センター、果樹研究所、近畿中国四国農業研究センター)、その他主催者が認めたもの

【日程】

9:30～11:30 成果報告(松山市由良公民館)
テーマ:「栽培技術革新による新品種のブランド化と産地展開」

- (1)開会および挨拶
- (2)趣旨説明

自動点滴かん水施肥技術の中晩生カンキツへの導入とブランド化支援に向けた研究開発

農研機構 近畿中国四国農業研究センター 根角博久

- (3)傾斜地園における運搬の省力化のための園内道の整備技術

農研機構 近畿中国四国農業研究センター 田中宏明

- (4)新しい栽培技術によるブランド化の事例

和歌山県農業試験場 神谷 桂

- (5)越冬完熟による不知火、せとかのプレミアム果実生産技術

愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター 藤原文孝

- (6)討論
- (7)閉会

12:30～15:00 現地実証等の視察検討(興居島実証試験現地)

- (1)自動点滴かん水施肥による早期成園化
- (2)小型管理機による園内作業道造成の実演
- (3)越冬完熟によるプレミアム果実生産
- (4)興居島における産地の現状と展開
- (5)その他(「水分ストレス表示シート」の使用方法の実演など)

【主催等機関】

主催：農研機構 近畿中国四国農業研究センター

後援：愛媛県、えひめ中央農業協同組合